



JSQC ニュース

No.386

発行 一般社団法人 日本品質管理学会

東京都杉並区高円寺南1-2-1 日本科学技術連盟東高円寺ビル内

電話.03 (5378) 1506 FAX.03 (5378) 1507

ホームページ:www.jsqc.org/

CONTENTS

- 1-トピックス 50周年記念事業キャラバン活動について
- 2-私の提言 「良品条件の追求による問題解決アプローチ」のすすめ
- 2-研究会だより
- 3-ホームページリニューアルについて/8・9・10月の入会者紹介/事務局からのお知らせ
- 4-行事案内/論文募集/第50年度研究助成募集

50周年記念事業キャラバン活動について

50周年記念事業キャラバン担当理事 齊藤 忠

一般社団法人日本品質管理学会（以下、JSQCと略す）は、“品質管理の一層の発展と学理の探求をめざして”、1970年（昭和45年）に設立されました。今年度は設立からおかげ様で50年になります。

そこで、50周年記念事業のひとつとして“品質管理活動周知キャラバン活動”を企画しました。

既存の「シンポジウム」や「講演会」、「JSQC規格講習会」、「クオリティトーク」、「QCサロン」等は、会員（個人・賛助・他）サービスの面からも従来通り行事を開催します。（事業所見学会は現在コロナ禍であり、参加いただく会員や引き受けていただく組織の感染予防の観点から開催を控えています。）

今回ご紹介する50周年記念事業のキャラバン活動は、従来のJSQC内の事業とは別に、これまでJSQCとは縁が薄かった方々や組織等に対して、広く品質管理の重要性や効能等を身近な事例を通して、より知っていただく機会をつくる社会貢献の一環として計画しました。

活動期間は2020年11月より2021年10月の1カ年の間で計画しています。

学会としての活動となると、どうし

ても“難しい統計的手法の説明”や“難しい論理や手法の説明”等と思いがちの方々がいらっしゃるかと思います。

そのように認識されるであろうことを想定し、今回特別にリーフレットを作成しました。（このリーフレットは限りがありますが無償で提供しています。後段に表紙を掲載）

キャラバン活動は、論理や手法を認識していただくのではなく、上段にも記載したように、品質管理が“難しい”、“一部（多くは製造業）の手法や考え方であろう”と思われがちなところを、そうではなく、万国共通で生活に密着した、重要なことであることを認識いただくことを目的としています。そのため、聴いていただく対象者を普段、生活や仕事の業務で“品質管理”を認識されていない、そのような用語は知っていても口にしないような方々を想定して、リーフレットを作成しました。

また、当学会は他の学会と比較して、特異性があります。多くの学会は学界中心で運営されていることが多いのですが、当学会は産官学界のバランスが、産業界が8割を占める他の学会にない特徴があります。論理も重要ですが、実学で実証してその効能を世に発信していくことに当学会の存在意義がある

ことから、多くの方々に“品質管理”を理解し、身近に感じていただく機会となるようなキャラバン活動を進めてまいりたいと考えております。

学会員の皆さまの身近なところで上記の目的に賛同いただく組織や団体等があれば、これからでも活動期間にOnline開催でも物理開催でもお邪魔したいと思いますので、お声がけいただければ幸いです。

2021年1月現在の開催予定

- ・商工会系の組織団体
- ・消費者系の組織団体
- ・金融機関 他

? 品質管理ってなんだろう?

工場で作ってる検査のことしょ? サービス業には関係ないですねえ いまでもなんかなってる! それより生産性!

…と思っている方へ! ぜひこれを読んでみてください!

品質管理

品質とは
お客さまに提供した価値に対する
お客さまからの評価
たとえば
機能・性能がいい 故障がない
だけではない
接客対応がいい 親切な気持ちがある
サービス業・接客業
安全だ 環境にやさしい
信頼できる 安心できる

品質管理とは
よい仕事を ワクワクと
効果的に 効率的に
できるようにするために
全員で 行う活動
これによって
お客さまの満足 を獲得して
社会の満足
事業の成功 継続・拡大
させて
みんなが 喜ばせになろう

いろいろな仕事の場面でキホンとなる役に立つ活動です

いろいろな組織で
製造業だけでなく
医療・介護
サービス業・金融業
建設・IT・通信・輸送
行政・学校・NPO
家庭（生活・育児）…

いろいろな職種で
製造現場だけでなく
企画・開発・営業・サービス
さまざまな現場・スタッフの業務
人事・総務・経理・品質…
経営者・経営スタッフ

いろいろな問題で
・売上を伸ばしたい
・生産性を上げたい
・顧客満足度を上げたい
・顧客満足度を上げたい
・事故・トラブルをなくしたい
・新サービスを提供したい

一般社団法人
日本品質管理学会

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-2-1 (日本科学技術連盟東高円寺ビル内)
電話 03(5378)1506 FAX 03(5378)1507 Email apply@jsqc.org 問い合わせ 03(5378)1507

<リーフレット表紙>

● 私 の 提 言 ●

「良品条件の追求による問題解決アプローチ」のすすめ

アイシン精機(株) 澤田 昌志



当社では、工場の生産性向上のためにTPM (Total Productive Maintenance) 活動を推進している。具体的には、自主保全、計画保全、品質保全、ロスゼロ (故障、段取り、チョコ停など及び品質ロスを含めてあらゆるロスに着目してこれを撲滅する活動)、人材育成などの活動を全社で行っている。この中で、私の所属しているTQM推進部門は、製造職場の人材育成を兼ねて、現場の重複小集団による品質保全活動を推進している。

今回、私が紹介したいのは、この品質保全活動の中で、工場の重点ライン活動として、改善を不良ゼロに向けて、品質保全の問題解決アプローチ (PMストーリー) として取り組んでいることである。

これまで品質問題の中で、不良が発生した場合は、QCストーリーに沿って、現状把握、重点指向をして、要因解析、真因追及を行い、効率的な対策を実施してきた。通常はこのやり方で問題ないが、実際には、QCD、特にKPIとして生産性優先のプレッシャーも大きく、その結果、個々の不良原因の、小手先の小改善で、問題を解決して先延ばしされる傾向にあり、本当の意味での工程内における、「不良ゼロ」

の達成が非常に困難となっているケースが散見される。とはいえ、すべての問題に対して大きなリソースをかけて工程内における、「不良ゼロ」の改善をすることもできない。このため工法別、製品別に重点を絞って「不良ゼロ」の技術ノウハウを蓄積し、あとは横展すべく取組んでいる。

PMストーリーでは要因の解析において、徹底的に加工点での「現象の見える化」、「メカニズムの解明」を行い、これによって、たまたまの原因追及ということではなく、そもそも良品となる条件の追求を行っていく。こうしたやり方により現場で良品条件の技術蓄積ができ、その結果として、会社全体で工場の生産性向上が図れていくと考える。

このアプローチはたいへん遠回りしているようで苦勞も多いが、本当に、品質優先で考えるなら、私は、この「良品条件の追求による問題解決アプローチ」を、ぜひみなさんも一度実践されることを提言する。

研究会
だより

中部支部 東海地区若手研究会

コロナ時代の若手研究会

主査 松田 眞一 (南山大学)

東海地区若手研究会の歴史は古く、1989年から本部主催の研究会として名前を変えつつ引き継がれてきて、1996年に若手研修会として発足したものが中部支部の若手研究会のルーツである。長年、名古屋工業大学の仁科先生が主査を務められ、後年は私が副査であったものの2018年4月に仁科先生が愛知工業大学に移られたのを機に、私が主査を務めることとなった。現在は名古屋工業大学の石井先生を副査として、相変わらず名古屋工業大学のセミナー室を借りて活動している。しかるにそれは2019年12月を最後に途切れている。みなさんご存じの新型コロナウイルスの蔓延のせいである。次の開催は2020年2月の予定であったが、中止とあいなった。台風で延期となったことはあるが、完全な中止は発足以来かもしれない。次の4月の予定も通常通り開けるかと思ったものの緊急事態宣言で無理となり、急遽Zoomによる遠隔での開催に変更することとなった。しかし、接続環境を各

人が整えるのに時間を要し、5月になって開かれた。日本品質管理学会のほとんどの行事が中止となり、研究会の遠隔開催もすぐに移行したところは少なかったと思うので1回の中止で再開されたのは早い方であろう。それは南山大学が素早く環境を整えてくれたため、Zoomが時間無制限で使えたことが大きかったと思う。

さて、そのような形で再開された若手研究会は8月の研究発表会が中止される中でも活発に議論された。遠隔であるため、出張では参加しづらかった人が復帰してくれたりしてメンバーは大学教員4名、産業界11名、準会員2名の合計17名が出席の可能性がある名簿に載っている。(2020年12月現在) それ以外に南山大と名工大の院生も加わっている。そして、11月の年次大会で3つの発表に結び付き、その一つは優秀発表賞を受賞した。今後も普遍的に製造に関する問題点を議論して、成果を発表できる研究会として続けていけたらと願っている。

ホームページ リニューアルのお知らせ

50周年記念事業の一環として、ホームページをリニューアルいたしました。

<https://www.jsqc.org/> ※URLの変更はありません。

今回のリニューアルでは、利用しやすくわかりやすいホームページとなるようページ構成やサイトデザインを全面的にリニューアルしました。また、スマートフォンなどモバイル環境でも閲覧できるように対応いたしました。

これからも会員の皆様のサービス向上を目指し、より見やすく、より使いやすいホームページとなるよう運営を進めてまいりますのでご活用いただければ幸いです。

2020年8・9月の入会者紹介

2020年8月17日の理事会審議・9月16日の理事会において、下記の通り正会員11名、賛助会員1社1口、公共会員1社1口の入会が承認されました。

.....
(正会員11名) ○小池 大助(藤田医科大学病院) ○佐藤 康二(宇部興産)
 ○尾形 有三 ○柏木 茂吉(日本能率協会コンサルティング) ○金 鳳花(中国広東省東莞理工学院) ○佐藤 謙治(パラマウントベッド) ○雨宮 利広(クワドリリオン) ○竹下 潤一(産業技術総合研究所) ○平間 直道(東芝デバイス・ペロップメントエンジニアリング) ○吉水 敬三(竹中工務店) ○桐林 基司(GSユアサ)

.....
(賛助会員1社1口) ○四国化成工業

.....
(公共会員1社1口)

○東洋食品工業短期大学附属図書館

2020年10月の入会者紹介

2020年10月14日の理事会審議において、下記の通り正会員5名、準会員12名、職域会員1名、賛助職域会員1名、賛助会員3社5口の入会が承認されました。

.....
(正会員5名) ○秋永 理恵(飯塚病院) ○富田 有(ダイワマネジメント) ○名倉 三加代(グローリー) ○Swift Joshua(積水化学工業) ○伊藤 学(協和)

.....
(準会員12名) ○井上 悠太郎・牧野 弘和(東京理科大学) ○王 怡嵐・胡

事務局からのお知らせ

日本品質管理学会監修「JSQC選書32・33」好評発売中

●JSQC選書32 (168ページ)

書名：生産管理－多様性と効率性に応える生産方式とその計画管理－
 著者：高橋 勝彦

判 型 等：四六判、並製本

定 価：1,500円(税別) → 学会員特典価格：1,280円(税別)

●JSQC選書33 (184ページ)

書名：海外進出と品質経営による成長戦略 グローバル中堅企業100年の軌跡
 著者：中尾 眞

判 型 等：四六判、並製本

定 価：1,700円(税別) → 学会員特典価格：1,360円(税別)

申込方法：<https://jsqc.org/jsqcselection/>

※書籍は請求書を同封して日本規格協会から発送いたします。

JSQC規格頒布のお知らせ

この度、下記の成果がまとめられましたので、ご希望の方に頒布いたします。

JSQC規格 Std 41-001「品質管理教育の指針」(英訳版)

1. 申込方法：E-mailまたはFAXにて資料名、部数、会員番号、氏名、所属、電話番号、E-mailアドレスをご連絡の上、お申込みください。

申込先：本部事務局 E-mail sec@jsqc.org FAX 03-5378-1507

2. 資 料 代：1冊(A4判51頁:PDF版) 会員20ドル、非会員25ドル

※日本円でお支払いの場合、受付日当日の日経レートにて換算いたします。

詳 細：<https://jsqc.org/jsqcstd/>

振込み先：一般社団法人 日本品質管理学会

三菱UFJ銀行 渋谷支店 普通預金 4313820

資料は入金を確認の上、送付いたします。

.....
 穎飛(早稲田大学) ○下条 和暉・岸 本 悠希(東京大学) ○山田 隆太・清水 康生(青山学院大学) ○浅野 裕一・古橋 和宏(電気通信大学) ○中島 悠貴(群馬大学) ○平良 尚子(玉川大学)

.....
(職域会員1名) ○野中 正人(KYB)

.....
(賛助職域会員1名) ○野口 愛矢子(千

代田グラビヤ)

.....
(賛助会員3社5口) ○ダイハツ工業 ○石福金属興業 ○トヨタホーム

.....
名誉会員：22名 賛助会員：153社225口

正 会 員：1757名 賛助職域会員：10名

準 会 員：93名 公共会員：17口

職域会員：53名

行 事 案 内

●JSQC規格「プロセス保証の指針」講習会 (東日本・オンライン)

テーマ：品質はプロセスで作りこむ
日 時：2021年2月25日(木)13:00~17:00
会 場：Zoom会議室 (オンライン)
講 師：山田 秀氏 (慶應義塾大学)
プログラム：
1. JSQC規格「プロセス保証の指針」
制定のねらい
2. プロセス保証の役割と構成要素
3. プロセス保証の基本・進め方・ツール(1)
標準化と工程異常の対応
工程能力の調査・改善
4. プロセス保証の基本・進め方・ツール(2)
トラブル予測・未然防止、検査・確認
5. 質疑応答
申込締切：2021年2月18日(木)
詳細・申込：https://jsqc.org/20210225
kousyukai/

●令和2年度QMS-H研究会 成果報告シンポジウム

テーマ：コロナ禍におけるQMS-H活動の推進
日 時：2021年2月27日(土)12:45~16:45
会 場：Zoom会議室 (オンライン)
申込締切：2021年2月19日(金)
申込先：シンポジウム事務局
E-mail: qms-h-secretary@tqm.mgmt.
waseda.ac.jp
詳 細：https://jsqc.org/r2qms-h/

●第169回シンポジウム (東日本・オンライン)

テーマ：変化の時代に対応した、持続的
成功を達成する組織能力を高める品質
マネジメントの実践—ISO 9001:2015
からISO 9004:2018へ、そしてTQMへ—
日 時：2021年3月3日(水)13:00~17:00
会 場：Zoom会議室 (オンライン)
プログラム：
基調講演「持続的成功を達成する能力
を高めるための品質マネジメントの実践
—ISO9001とISO9004とTQM—」
中條 武志氏 (中央大学)
「ISO9001:2015の活用—経営成果を
上げるISO9001の読み方・使い方—」
青木 恒享氏 (テクノファ)
「ISO9001:2015からISO9004:2018へ
—組織の品質: ISO9004のマネジメント
モデルとその活用—」
安藤 之裕氏 (安藤技術事務所)
「ISO9004:2018からTQMへ—持続的成
功を達成する組織能力を高めるための
ツールとしてのTQMとその活用—」
光藤 義郎氏 (日本科学技術連盟)
総合質疑

詳細・申込：https://jsqc.org/169symposium/

●JSQC規格「品質管理教育の指針」講習会 (東日本・オンライン)

テーマ：TQMの実践に必要な人材を育てる
日 時：2021年3月16日(火)13:00~17:00
会 場：Zoom会議室 (オンライン)
講 師：古谷 健夫氏
(クオリティ・クリエーション)
申込締切：2021年3月9日(火)
詳細・申込：https://jsqc.org/20210316
kousyukai/

●第122回クオリティトーク (東日本)

テーマ：ビッグデータ時代のデータリテラシー
ゲスト：吉野 睦氏 (デンソー)
日 時：2021年4月16日(金)18:00~20:00
会 場：Zoom会議室 (Web)
詳細・申込：https://jsqc.org/122talk/

●JSQC規格「小集団改善活動の指針」講習会 (東日本・オンライン)

テーマ：小集団改善活動を推進する
日 時：2021年4月22日(木)13:00~17:00
会 場：Zoom会議室 (オンライン)
講 師：村川 賢司氏 (村川技術士事務所)
申込締切：2021年4月15日(木)
詳細・申込：https://jsqc.org/20210422
kousyukai/

●JSQC規格「新製品・新サービス開発 管理の指針」講習会 (東日本・オンライン)

テーマ：顧客・社会のニーズをもとに
新たな価値を創造する
日 時：2021年5月18日(火)13:00~17:00
会 場：Zoom会議室 (オンライン)
講 師：中條 武志氏 (中央大学)
申込締切：2021年5月11日(火)
詳細・申込：https://jsqc.org/20210518
kousyukai/

●50周年記念シンポジウム

テーマ：激動する時代に飛躍する未来
志向の品質経営
日 時：2021年5月28日(金)13:00~17:35
会 場：早稲田大学大隈記念講堂 小講堂
(同時配信あり)
プログラム
1. 趣旨説明
二橋 岩雄氏 (JSQC会長)
2. これまでのJSQC学会活動の紹介
永田 靖氏 (JSQC副会長)
3. JSQC学会が今後果たすべき役割とは
二橋 岩雄氏 (JSQC会長)

「品質」誌、投稿論文の募集!

会員の方々からの積極的な投
稿をお勧めします。投稿区分は、
報文、技術ノート、調査研究論
文、応用研究論文、投稿論説、
研究速報論文、クオリティレポー
ト、レター、QCサロンです。

論文誌編集委員会

第50年度研究助成募集中

応募締切：2021年3月末日
詳細：http://www.jsqc.org/ja/
oshirase/jimukyokukara.html

4. これからの時代の“品質”
～DX時代のエクセレントサービス
小原 好一氏 (前田建設工業)
5. 価値デザイン社会の実現に向けて(仮)
小林 英司氏 (内閣府)
6. 変化の時代における品質経営の
アプローチ (仮)
狩野 紀昭氏 (東京理科大学)
7. パネル討論「これからの品質経営
と本学会が果たすべき役割とは？」
ファシリテーター：永田 靖氏
パネリスト：上記講演者
申込締切：2021年5月21日(金)
詳細・申込：https://jsqc.org/50th_
anniversary_symposium_news/

●第125回研究発表会 (本部) 発表募集

日 時：2021年5月29日(土)
会 場：オンライン
(1)申込期限
発表申込締切：3月19日(金)
予稿原稿締切：4月26日(月)必着
参加申込締切：5月21日(金)
(2)研究発表・事例発表の申込方法
https://jsqc.org/125research
presentationbosyu/
(3)参加申込
3月中旬にホームページにてご案内します

事 務 局

JSQCホームページ：www.jsqc.org/
本 部：166-0003
杉並区高円寺南1-2-1
日本科学技術連盟 東高円寺ビル内
E-mail: jimukyoku@jsqc.org
中部支部：E-mail: nagoya51@jsa.or.jp
関西支部：E-mail: kansai@jsqc.org